



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和2年度 11月号

感謝の気持ちをもって！

校長 松本浩一



若狭湾青少年自然の家

この約2か月、旭フェスの開幕に始まり、野外活動、体育大会、修学旅行、文化発表会と大きな行事が立て続けにありました。コロナの影響で、1学期に計画していた取り組みがすべて2学期に延期され、様々なことを並行して準備、練習しなければならなかったため、皆さんも大変だったと思います。縮小や変更はあったものの、中止になることなく、なんとか無事に実施できてほっとしています。

今回の一連の行事を通して痛切に感じたこと、それは「修学旅行に行けること」や「体育大会を実施できること」が当たり前のことではないということです。コロナ対策をしっ

感謝

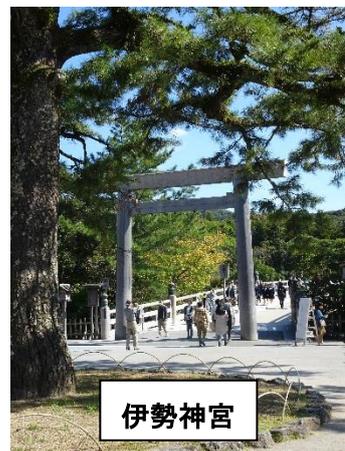
かり考えながら実施までこぎつけてくれた学年や担当の先生、実施に当たってより万全な体制を考えてくれた生徒会や実行委員、コロナが心配な中送り出してくれた家族の方、受け入れてくれた三重県や若狭の方。本当に多くの人のおかげで、例年当たり前に行っていた行事が実施できたのです。ぜひ感謝の気持ちを忘れない

いでほしいと思います。

皆さんはそれに見事に応えてくれました。まわりのことをよく考えて行動する姿、仲間を思いやり協力する姿、クラスのためにと汗をかく姿、さわやかにあいさつやお礼をする姿、そしてコロナに対して考え実行する姿。様々な制限がある中で、行事を成功させようと意識を高くもって、そして精一杯楽しもうとする皆さんに大きな成長を感じました。

学校にはいくつかの大きな行事があります。その行事から何を学び成長するかがとても大事です。特に今年は、学ぶことが多かったはず。各種行事で学んだことをしっかりと振り返り、今後の生活にどう生かしていくか。協力すること、自分で考えること、ときには我慢すること、様々なことを今後の生活に生かしていきましょう。

この過密日程の中、すべての行事を成功させてくれた皆さん、そして多くの方に感謝したいと思います。



伊勢神宮

マスクをこえて届く思い

文化発表会が終わりました。今年度は、学年ごとに行い、ソーシャルディスタンスが取れるように変更して開催しました。また、写真でもわかるようにマスクをはめた状態で歌うことや、施設の規定により、例年ならば舞台上にある反響板も、間隔を充分とるために、舞台上にはおかないこととなっていました。

そんなハンディがあったのですが、担任の先生をはじめ、講評をしてくださった佐波先生からも、見事な歌声であったとの感想をいただきました。さらに、感動で泣きそうになった（泣いてしまった）と話していた先生もいました。



学級通信では生徒が、「クラスが一つになった」「最高の合唱ができた」等、存分に合唱を味わい、充実した行事であったと感想を述べていました。様々な制限がありながらも全力を尽くし取り組むことができたから、思いのこもった発表につながったのでしょう。また、3年生は、去年の卒業式で歌う予定であった合唱曲「絆」を、やっと全体で発表することができました。きっと2年生の頃では表現しき

れなかった「絆」を全力で表現してくれたのではないのでしょうか。

このように素晴らしい文化発表会でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者の皆様にリアルタイムでお見せすることができず申し訳ありませんでした。現在配信しております限定公開動画については、令和3年1月6日（水）までご覧いただけますので、こちらでお楽しみいただければ幸いです。

